2024　年度 授業計画(シラバス)

| 学　　科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 科 目 名 | 地域・在宅概論 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15　(1)　時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 1年教室 |
| 担 当 教 員 | 戸板　宏一郎 | 実務経験とその関連資格 | 医療機関で看護師として勤務していた | | | |

《授業科目における学習内容》

本科目は、地域で生活する人々とその家族の暮らしを理解するとともに、生活が健康に与える影響を学んでいく。
人の暮らしは個別的で自己の価値観を形成していることを学ぶ。さらに、人は家族の中で生活し、家族は地域の中で生活する存在であること、ソーシャルサポートの存在や生活環境が健康に影響することを学んでいく。

《成績評価の方法と基準》

試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

地域療養を支えるケア(メディカ出版)
看護学概論(メディカ出版)
国民衛生の動向(厚生労働統計協会)
そのほか、適宜紹介する

《授業外における学習方法》

自分が暮らしている市町村の広報誌を積極的に読みましょう。自分も地域で暮らしている存在です。開催される行事やボランティアに積極的に参加しましょう

《履修に当たっての留意点》

その都度、レポートの提出はお知らせします。レポートは評価対象です。期限内に提出してください。暮らしや生活、価値観を理解するためには他者の意見を聴くこと、自分の考えを伝える努力をしましょう

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活することの意味と、とらえ方を考えることができる。 | テキスト・参考書 | 履修概要を事前に確認する |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生活している私たちの身の回りには何があり、どのようなサービスに支えられているのか、考えてみる。生活の基盤について振り返る。 | | |
| 第2回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域と生活の関係について理解することができる。 | テキスト・参考書 | 自分の生活の場を伝えられるように工夫してくる |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域特性の具体例について知り、生活への影響を考えることができる。 | | |
| 第3回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活と健康との関係を考え、健康に影響を及ぼす原因を理解することができる。 | テキスト・参考書 | 家族について、テレビ・漫画などに出てくる家族から考えておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生活習慣病とその原因を理解し、予防するために必要な方法を考えることができる。 | | |
| 第4回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域在宅看護を行うにあたり、その社会背景に何があるのか理解できる。 | テキスト・参考書 | テキストを読んでくる |
| | | 各コマにおける授業予定 | 統計から、人口構造の変化を理解し、今後予想される課題と地域在宅看護に求められるものを考える。 | | |
| 第5回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域在宅看護の基礎的な知識を理解することができる。 | テキスト・参考書 | 自分の生活圏内にある施設、公民館、ごみステーション、バス停、病院、診療所、スーパーなど見てくる |
| | | 各コマにおける授業予定 | 在宅看護と医療施設での看護を比較し、在宅看護で特に重要なポイントを抑える。 | | |

| 授業の方法 | | | 内　　容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域在宅看護を展開するにあたり、対象者と看護の場について理解できる。 | テキスト・参考書 | 普段どのような人々と関わっているのか、考えてくる |
| | | 各コマにおける授業予定 | 在宅看護の対象者となる療養者についてイメージすることができる。また在宅看護がどのようなところで行われているのか理解する。 | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域在宅看護を展開するうえで、求められる対人技術について理解できる。 | テキスト・参考書<br>市町村の広報誌 | 自分が生活する市町村の広報誌を持参する |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域在宅看護を展開するうえで、対人理解と対人関係の基盤となる看護技術について理解する。 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 地域在宅看護における倫理について考えることができる。 | テキスト・参考書 | テキストを読んでくる |
| | | 各コマにおける授業予定 | 地域在宅看護での看護倫理を具体的な例をもとにイメージする。 | | |